

世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ 第1回シンポジウム開催

2014年4月3日に土木学会国際センターの主催により「世界で活躍する土木技術者シリーズ」第1回シンポジウムとして「アジアとヨーロッパを結ぶ—ボスポラス海峡横断鉄道工事」を開催しました。

本シンポジウムは、日本の建設企業による海外大型プロジェクトが、当該国のみならず広く評価されている現状をとらえ、日本の土木技術および土木技術者の活躍を広く知っていただくこと、また将来の日本を担う若者たちにインフラ整備の意義や海外の仕事を伝えることを目的として企画、実施いたしました。



国際センター
情報 Gr.担当次長
鶴巻 栄光



橋本会長の開会挨拶

今回のシンポジウムは橋本土木学会長の開会挨拶に始まり、前半はプロジェクトが行われたトルコと日本との友好関係について元駐トルコ日本国大使の田中信明氏によるご講演のほか、両国の関係や海外へのインフラ展開に関連したご講演をいただきました。また後半は実際にプロジェクトに携わった大成建設の近江秀味氏をはじめ6名の土木技術者の方々からプロジェクトの概要をはじめ、ご担当された工事についてエピソードを交えながらご講演をいただきました。講演の最後は、神田基氏により、若手技術者としての視点からプロジェクトに携わった経験や苦労、そしてこれから活躍する若者へのアドバイスなどご講演いただき、閉会しました。

今回のシンポジウムでは上記講演のほかプロジェクト紹介DVDの上映やパネル展示が行われました。参加者は150名を超えたいへん盛会でした。

国際センターでは今後も海外プロジェクトを対象としたシンポジウムを実施する予定です。



講演会の様子



大成建設 近江秀味氏